

くらし

マイナンバーカード

◆出張申請サポート
各場所での無料写真撮影と申請書作成のサポートをします。

その場でマイナンバーカードをお渡しすることはできません。申込み後、1カ月半ほどで交付通知がきを送付します。

なお、本人確認書類（運転免許証・健康保険証など）を持参いただくと、自宅へカードを送付します。※申請サポートは、業務時間内に保健・福祉合同庁舎1階で行っています。

日時・場所

- ①11月17日（日）・浜手地区公民館
- ②11月21日（木）・山手地区公民館
- いずれも午前10時～午後1時
- 持物 通知カード（お持ちの方）、本人確認書類
- ◆日曜開庁（予約優先制）
- 日時 12月1日（日）午前9時～正午
- 場所 保健・福祉合同庁舎1階
- 問合せ先 市民課 ☎072・433・7094

安全

Jアラート 全国一斉情報伝達訓練

全国瞬時警報システムと市内に設置している防災行政無線を連動し放送することで、正常に作動しているかを確認するものです。

放送内容

（チャイム）
「これはJアラートのテストです」×3回
「こちらは防災貝塚市です」（チャイム）

日時 11月20日（水）午前11時頃
問合せ先 危機管理課 ☎072・433・739

消防

問合せ先 消防本部 ☎072・422・0119

防火図画列車を運行



昨年の防火図画列車の様子

防火図画の入賞作品（特賞・特選）を、水間鉄道車内に展示し運行します。なお、展示列車は、点検などのため運行しない日もあります。運行状況は水間観音駅（☎072・447・0465）へお問合せください。

期間 12月6日（金）～22日（日）

火の取扱いに「注意」！

全国で、年間3万8000件以上の火災が発生して

います。その半数以上は建物火災です。また、住宅火災による死者数は、火災による死者数の約7割に上り、うち約7割以上が65歳以上の方です。今一度、ご家庭の防火対策を見直してください。

カセットボンベの取扱いに「注意」！

秋も深まり、鍋料理の多い季節になりました。これからの時期、家庭で使用するコンロ用カセットボンベには、LPガスが充填されています。ガスが残った状態で処分すると、爆発の可能性もあり大変危険です。ボンベは必ず使い切り、振って音がしないことを確かめてから処分してください。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③コンロを使う時は火のそばを離れない
- ④コンセントはホコリを清掃し不要なプラグは抜く
- ⑤6つの対策
- ⑥ストーブやコンロなどは安全装置の付いた機器を使用する
- ⑦住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ⑧部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防火品を使用する
- ⑨消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- ⑩高齢者や身体の不自由な方は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ⑪防火防災訓練や地域ぐる

みの防火対策活動に参加する

警察

指名手配被疑者の検挙にご協力を

令和6年8月末現在、全国の警察から指名手配されている者は、警察庁が指定している重要指名手配被疑者をはじめ、約590人になります。

これらの被疑者は、殺人・強盗などの凶悪事件のほか、暴行・傷害・窃盗・詐欺などの事件に関して指名手配されており、身近に潜んでいるかもしれません。府民の皆様からの情報に基づき指名手配被疑者の検挙につながります。どんな些細な情報でも構いません。「あつ！この顔は！」と思っただけでも構いません。情報提供をお願いします。問合せ先 貝塚警察署 ☎072・433・1234

固定資産税・都市計画税 第3期分 納期限は12月2日（月）

納付は、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアのほかスマホアプリ決済なども利用できます。便利で確実な口座振替も随時受付しています。

問合せ先 納税課 ☎072-433-7260・7261

大阪府個人事業税 第2期分 納期限は12月2日（月）

問合せ先 泉南府税事務所 ☎072-439-3601

令和6年度 教育委員会点検・評価報告

教育委員会では令和5年度に実施した事業について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表しています。その中から、教育大綱の目標達成に向けて行った特徴的な取り組みについてご紹介します。



ホームページ



①キャリア教育推進事業

本市出身の社会で活躍する先輩から、これまで歩んできた道のりについて話を聞く機会をつくり、子どもたちがより大きな未来のビジョンを描いて成長できるよう取り組みました。また、地元企業を見学することにより、技術力の高さと地場産業のすばらしさを学び、貝塚を誇りに感じられる学習を行いました。



②文化財や社会教育施設の効果的な活用

本市が持つ文化財や社会教育施設などを、教育だけでなく、市域を越えた交流につながるまちづくりや観光をはじめ幅広い分野に活用できるよう取り組みました。

善兵衛ランドでは、岩橋善兵衛の望遠鏡を使って日本地図を作成した伊能忠敬の記念館がある千葉県香取市と、互いを行き来してイベントを開催し、交流人口の増加を図りました。

また、和泉山脈・金剛葛城山地を舞台とする日本遺産「葛城修験」に、本市の「蕎原とちのき谷」が追加認定されたことにより、新たな観光資源が生まれました。

③クリケットのまちづくり推進事業

昨年、市と日本クリケット協会・関西クリケット協会が共催で、在日留学生などを招待して、ルールや道具を簡略化したソーシャルクリケット大会を開催しました。留学生の5チーム、関西国際センター、大阪河崎リハビリテーション大学、市職員の計8チーム、52人が参加。参加者の国籍は16カ国にのぼり「クリケットのまち貝塚」として、市民が外国の方と交流する貴重な機会となりました。



④青少年国際交流事業

姉妹都市であるアメリカ・カルバーシティ市と本市の高校生の相互訪問による交流や、高校生の海外短期留学の支援など、本市の青少年が海外に目を向け、国際感覚を身につけるきっかけとなるような事業に取り組みました。

問合せ先 教育総務課 ☎072-433-7106

広告